MC トランスキット
NSMC-103BLK 部品キット
組立取扱説明書

この度は、 NSMC-103BLK　MC バランスステップアップトランスキット　をお買い上げいただきありがとうございました。
このMCバランスステップアップトランスキットは従来のステップアップトランスでは実現が難しかったバランス伝送を簡単に実現していただけるよう設計された新しい MC トランスキットです。
　この為、フォノケーブル(5P→XLR プラグ完成品)も添付し、更に別販売になりますが、アンバランス再生も可能なよう、バランス→アンバランス変換アダプタも用意いたしました。
　どうぞこの説明書をご熟読いただきアナログ再生をこのバランス伝送再生でお楽しみください。

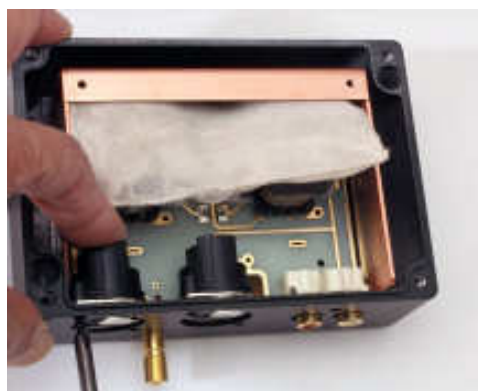
事前の準備

1. 部品確認

① 本体---1
② 外装カバー---------------------------------1
③ シールドカバー---------------------------1
④ 3mm×10mm 平ビス } 各 6(予備各 1)
⑤ 3mm×8mm 丸ビス } (お手持ちのドライバーの先端形状に合わせてください。)
⑥ 3mm×6mm 銅メッキビス------------3(予備各 1)
⑦ シリコンゴム足--------------------------4
⑧ ラベル(BAL⇔UNBAL)--------------------1
⑨ 4mm×12mm 黒ビス -------------------4

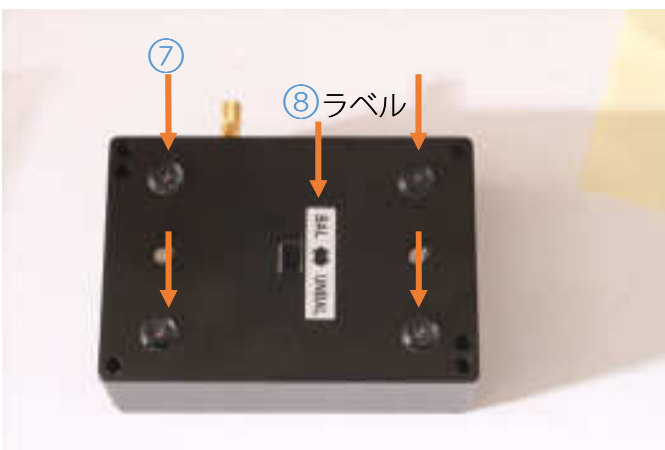
2. 基板及びジャックの固定

a)

b)

5 箇所ビスを仮止め
（④3×10mm 平ビス
又は⑤3×8mm 丸ビス）
ドライバーに合った
ビスを使用してください
※ジャックをしっかり抑えながら
ネジを締めること

3. シールドカバー取付.

4. 外装カバーをする.

5. 足・ラベルの貼り付け.

a) ⑦シリコンゴム足
4 個貼り付け

b) ⑧BAL⇔UNBAL
ラベル貼り付け
向きに注意

以上で完成

事前の準備

- 組み立ての終わったトランスキットの裏面のバランス―アンバランスの切り替えスイッチを動作させる方に切り替えます。
- 本器・プレーヤ・プリアンプ(フォノイコライザ)の GND 端子を必ず接続しておいてください。
- トーンアームから単独にアース線が出ている場合は、本器を経由せずプリアンプ・又はフォノイコライザの GND 端子直に接続してください。
- アース線の接続方法はそれぞれの環境によってかわることがあります。
  接続方法によって直接事故につながることはありませんので、ご自身で音質の良い方法をお選びください。
- 本器は厳重なシールドを施してありますが、設置場所によって誘導雑音の出方がかわることがあります。設置場所を動かして誘導雑音の少ない場所でご使用ください。

バランス伝送…底面スイッチはバランス側

① プレーヤからの出力ケーブル(フォノケーブル)が必ずバランスケーブル(XLR 端子)になっていることを確認してください。
② バランスケーブルの XLR 出力プラグを本器の IN 端子 L/R を間違えないようしっかりと挿入してください。
③ 本器の出力 OUT 端子とプリアンプ(イコライザアンプ)の入力端子(フォノ入力)を接続してください。

アンバランス伝送…底面スイッチはアンバランス側

① プレーヤからの出力ケーブル(フォノケーブル)はアンバランスタイプで本機の使用が出来ます。但し別売りの変換アダプタ(NSAD-RX)が必要です。(1 -NC,2 HOT, 3 E COLD)
② 変換プラグを本器の IN 端子に挿入してご使用ください。
この場合 RCA プラグのマイナス側を触っても何ら問題はありません。

エージングについて

使用開始直後から本器の使用効果はありますが、音質的には 100 時間程のエージングを行っていただきますと性能を十分に発揮することができます。
エージングは本器だけの動作ではなく必ず AV コンポーネントも動作状態で行ってください。

サービス・技術的なご相談について

万一、異常が発生した場合や、製品に対する技術的なお問合せは下記当社宛ご連絡ください。

株式会社中村製作所

〒252-0231　神奈川県相模原市中央区相模原 6-21-8
TEL　042-759-7812　　FAX　042-751-7377
URL　http://ns-t.com　E-mail　info@ns-t.com